

奈良県では、「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指しています。法隆寺地域や古都奈良、紀伊山地



奈良県知事

荒井正吾

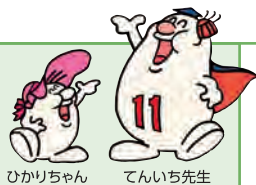
の世界遺産には、今も立派な建造物が残っていますが、「飛鳥・藤原」には、そのようなものはありません。しかし、歴史上の価値は、奈良県で先に登録された世界遺産にひけをとらないものと思われます。わが国が、初めて国家の基礎を創り、仏教を受容し、漢字を採用し、歴史上随一の華やかな国際交流の舞台となったところなのです。

また、「飛鳥・藤原」の時代は、女性が大活躍した時代でもありました。天智天皇の娘で、叔父大海人皇子(天武天皇)の妃となり、のちに即位された持統天皇をはじめ、推古天皇、齐明天皇、元明天皇、額田王など、多くの女性が気高い生涯を送られました。最近刊行された文春新書『女たちの壬申の乱(水谷千秋・著)』で激流の中で自らの運命を生きた女性の活躍がよく分かります。

「飛鳥・藤原」は、驚くべき歴史の宝石が埋まっているところです。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



多様性のその先へ ~ひとりじゃないよ~

オランダ人絵本作家ピーター・スピアーの『せかいのひとびと』という絵本があります。その題のとおり、世界中の人の外見上の違いや人種、民族、言語、宗教、生活などの多様性、さらに差別や争いの問題などが、さまざまな視点で描かれています。

多文化共生や多様性尊重に関する本は多いけれど、私がこの本に心動かされるのは、人間の感情、行動、社会問題にまで踏み込んでいるからです。みんなでも何かするのが好きな人や一人が好きの人、強い人も弱い人もいます。さらに、たいていの人は良い人ですが、悪い人も少しいます。勤勉な人や怠けている人も、働きたいのに仕事がない人もいます……。でもみんなどこかで生きていて、どのように生きてきた人

も、最後は命を終える、その共通点で、世界中の人はつながっている、とそんなメッセージを感じます。

どの人にも違いがあるのは当たり前のことです。また、誰もが不安や恐れを抱え、危機と隣り合わせで生きている、その現実も当たり前のことです。だから、何か困った事が起きた時に助けを求めることは決して特別なことではありません。相談を迷っている人には「ひとりじゃないよ。話してみませんか。」と、心からお伝えしたいです。

今月のポスター



斑鳩町立斑鳩中学校 2年  
よしむら あゆか  
吉村 歩華さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

- ①奈良大和路カレンダー
  - ②万葉日本画カレンダー
- を各3名にプレゼント!

※希望するプレゼント番号を記入のうえ、ご応募ください。

締め切りは11月30日(消印有効)



奈良大和路カレンダー



万葉日本画カレンダー

ハガキにクイズの答えと、住所、名前、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。  
※個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。

○に当てはまる文字を答えてください。

Q 「飛鳥・藤原」が2024年に目指している登録は?

A 世界○○

ヒントは2ページ

9月号の答えは“まほろば”でした。応募総数327件。



www.pref.nara.jp/30222.htmや上記からも11/1以降応募できます。